

KOFU21

Chartered 1990
甲府21ワイズメンズクラブ



〒400-0032 山梨県甲府市中央3丁目10-7
山梨Y M C A グローバルコミュニティセンター
☎055-235-8543 fax055-235-8553
Mail kofu21@googlegroups.com

| | | |
|------------|---------------------|--|
| 国際会長 | ウルリック・ラウリドセン(デンマーク) | 「輝かそう、あなたの光を」 |
| アジア太平洋地域会長 | 利根川恵子 (川越) | 「変革のための光となろう」 |
| 東日本区理事 | 山田公平 (宇都宮) | 「未来のために今、学びと気づきを！ 未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」 |
| あずさ部部長 | 森本俊子(長野) | 「よい結果をもたらす心の安定と考える力」 |
| 甲府21クラブ会長 | 小澤公紀 | 「みんな一緒に、1つの目標(YMCAの支援)に向かって行動しよう」 |

甲府21ワイズメンズクラブ
2024年 1月会報

今月の強調テーマ

E F、J E F

【今月の聖句】

選者：駒田勝彦

「主に感謝せよ。主は慈しみ深く 人の子らに驚くべき御業を成し遂げられる。
民の集会で主をあがめよ。長老の集いで主を賛美せよ。」 詩編 107章31-32節

1月 巻頭言



会長 小澤公紀

あけましておめでとうございます。
早いもので、2023～2024年度も折り返し点を過ぎ後期に入りました。昨年はコロナ5類移行を受け、クラブの皆様全員の積極的な協力体制のもと数々の事業を無事終了されたことに改めて御礼申し上げます。

今世界では、戦争、環境、貧困などの人間の存在にかかわる大きな問題が何の解決の方向をも見いだせないままであり、国内ではスポーツで一部、明るい話題があるものの、前述の問題が徐々に私達の実生活に影響を与え始めており、さらに低レベルで不安定な政治家の金銭問題等の懸念材料がそのまま年を越します。

そうした中で、私達個人は一体どのように考えどのように行動していくのかの選択をしていかななくてはなりません。将来、運命共同体として全ての人々が平和で人としての尊厳をもって生きていけるような地球にする為には、当然にこの先を担う今の若者たちの生き方、考え方による行動が大きく影響してくるものと思います。

それでは、今の世界を作り上げた私達高齢者(65歳?)はどう行動すべきなのか考えたとき、やはり私達自身自身の反省を踏まえて、若者たちとの接点を増やし語り合うことが重要と思います。そう、私達ワイズメンズは「YMCAの支援」が最大の目標であり、人的にも、環境的にも「持続可能な世界」の構築の為一人一人が何を、どのように考え行動するか語り合いです。AIに頼る平和ではなく過去の良い点、悪い点を含め若者と語り合うことで何か一つでも気づきがあればそれはプラスの方向であり、その積み重ねで世界が変わることもあり得ます。

甲府21ワイズメンズクラブの年度後期は、ユースとの語り合いの機会をさらに増やし「老若男女」問わず自分の考えを語り、他人の考えを聞くことの大切さを実感したいと思います。後期も各種事業を含め、皆様方の積極的な協力を期待いたします。

プログラム 山梨在住四クラブ新年合同例会

2024年1月9日(火) 18:30～20:30

会場：シャトレゼホテル談露館

- 第一部 例会
- | | |
|----------------------|-------------------------------|
| 司会 | 後藤哲夫ワイズ |
| 1. 開会点鐘 | 甲府21クラブ 小澤公紀会長 |
| 2. ワイズソング、ワイズの信条 | 奏楽・荻野優子 |
| 3. 今月の聖句 一言 | 甲府21クラブ 駒田勝彦ワイズ |
| 4. 会長挨拶、ゲスト紹介 | 甲府21クラブ 小澤公紀会長 |
| 5. 卓話 | 日本YMCA同盟 田口 努 総主事 |
| 演題 | 「ユースの成長と共に、 わくわく喜びあうワイズメン」 |
| 6. ユースタイム | |
| 7. ハッピーバースデー&アニバーサリー | |
| 8. 諸報告 | |

<写真撮影>

- 第二部 懇親祝会
- | | |
|--------------------|-------------------|
| 司会 | 水越正高ワイズ |
| 1. 開会の辞 | 甲府やまなみクラブ 藤原一正会長 |
| 2. 食前感謝 | 甲府21クラブ 小野興子ワイズ |
| 3. 乾杯 | 富士五湖クラブ 原淑子次期会長 |
| 4. ワイズディナー | |
| 5. 新入会員紹介 | |
| 6. しらいみちよチャリティーライブ | |
| | ～愛を音にかえて 音を愛にかえて～ |
| 7. YMCAの歌 | 奏楽・荻野優子 |
| 8. 閉会点鐘 | 甲府クラブ 金丸さぶろう会長 |

《1月の誕生者》 Happy Birthday!

- | | |
|------------|-----------|
| 〈メン〉 | 〈メネット〉 |
| 小澤公紀(1日) | 清藤和子(11日) |
| 末木咲子(7日) | 山口 茜(15日) |
| 鈴木美穂子(26日) | |

[敬称略]

2023年12月クリスマス例会

書記 寺田喜長

日時 2023年12月10日(日) 17時～

会場 アルフィー

第一部クリスマス礼拝は日本基督教団甲府教会 齋藤牧師の奨励を頂き、杉田博子ワイズのクリスマスに寄せての歌声を拝聴。

第二部例会では毎年バザーで販売する野菜栽培にご協力頂いている沼田三郎、永子様ご夫妻に感謝状と記念品をお送りしました。子供たちの農業体験や作物の手入れ等大変お世話になっております。ありがとうございます。ハッピーバースデーでは御家族で参加頂いた齋藤牧師のお嬢様を12月誕生者としてワイズ仲間と共に祝福させて頂き、10代の方のハッピーバースデー該当者が参加されたのは久しぶりで、感謝の挨拶が新鮮でした。

第三部の懇親会は赤根学ワイズに急遽司会をお願い致し進行して頂き、駒田勝彦ワイズに食前の感謝の祈りを、輿水順雄次期会長の乾杯にて開会、楽しい食事と歓談のひと時を過ごし、お楽しみは、岩間龍山さんの尺八と根岸哲也さんのギターの珍しいコラボレーション演奏でした。時間が押しておりオークションの盛り上がりは少々寂しい感じですが多量のお米をはじめ多くの献品に感謝いたします。会場満杯の参加者の熱気に満たされた集いはアディショナルタイム15分追加となつての閉会点鐘となりました。



①アルフィー②ハッピーバースデー③会長挨拶④岩間龍山さん&根岸哲也さん⑤CDを発表 杉田博子さん⑥沼田ご夫妻に感謝⑦齋藤真行牧師⑧入口近くの皆さん



2024年の目標・抱負

2024年の抱負（健康であること第一に）
 佐藤 重良
 健康であることがすべての基本であるので、第一に功刀先生の本より「睡眠6時間以上を確保」しようと努力する事、第二に体操・ウォーキング等出来ることから実施したいと思います。仲間と音楽と緑・土・ついでに酒と肴を楽しみ、子供たちのために、一人ではできないことを、多くの皆さんと力合わせて、より良いもの（一歩上を目標に）を提案・実施にチャレンジしたい。

「健康第一」 山 縣 護 治

今年で85歳になりました。
 目標は元気で長生きしワイズの奉仕をすること。それには健康に気をつけて毎日を暮らしていきたいと思ひます。

清藤城宏

"昨年にも増して、より一層老々介護に携わることになりそうですが、それでもなお、YSの活動を通じて社会に奉仕する機会に加わっていききたいと思ひます。"

「今年も健康寿命を保ち、例会を始め各種イベントに出来るだけ出席したい」

松村禎夫

嘉辰令月（かしんれいげつ）

「辰」の字を使う熟語を探していたら、見付けたものです。意味は、よき日とよき月。めでたい月日。えんぎのよい時節のことです。大安吉日、黄道吉日と同じような言葉。華燭の宴を夢見て・・・

野々垣 和宏

今後の予定

1月 9日（火）第1例会 山梨4クラブ新年合同例会
 1月 23日（火）第2例会 18時半

2月 6日（火）第1例会 19時 TOF 例会
 2月10日（土）あずさ部第2回評議会（東京八王子クラブ）
 2月20日（火）第2例会 18時半

杉田 博子さん ソプラノコンサート



ホットな情報が飛び込んできました。関係者筋によれば、来る4月13日（土曜）

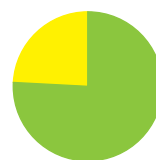
甲府市総合市民会館芸術ホールで、杉田博子さんのコンサート

が行われるということ。12月のクリスマス例会で、披露した歌声は、2024年に更にパワーアップして皆さんにお届けしたい、ということです。

詳細は、追ってブリテンでも発表致します。皆さんにお願いしたいのは、4月13日のカレンダーに○をつけていただくこと、です。

野々垣和宏記

《12月例会の出席者》



76%

| | |
|----------|-----|
| 会員数 | 42名 |
| 第一例会出席者 | 29名 |
| その他行事参加者 | 3名 |
| 総出席者数 | 32名 |
| 出席率 | 76% |

【会計報告】

2023年12月末現在



| 項目 | ニコニコ | バザー | クリスマス | トータル |
|---------|---------|---------|--------|---------|
| 目標値 | 250,000 | 100,000 | 50,000 | 400,000 |
| 12月の合計 | 27,450 | 0 | 52,000 | 79,450 |
| 12月末迄累計 | 182,190 | 308,529 | 52,000 | 542,719 |
| 達成率 | 72.9% | 308.5% | 104.0% | 135.7% |

甲府21 年の瀬にネギ1万本販売 チャリティー活動

2023年12月26日&28日

□笛吹市境川町藤壘の沼田さんから、「ネギが約10,000本ありますから山梨YMCAの活動のため自由にお使いください」とのご好意のお話が有りました。

□ネギは、お正月にはなくてはならない食材です。風邪の予防にも良いようです。

□沼田さんのご好意をいただき、「山梨YMCAの子供たちの為に販売し、献金しよう」と企画し、12月26日に収穫、12月28日に販売を実施致しました。詳細は次の通りです。



ネギ畑 10,000 本を掘り起こし

A 収穫作業

日時 12月26日 10時集合16時頃終わる
場所 境川沼田農場 ネギ畑

B 販売

日時 12月28日 10時から15時
場所 境川町物産直売場隣接の食品スーパーのセルバさんの店頭

C 参加者

(ワイズ)野々垣健五・小澤公紀・寺田・興水・飯田
・山縣・佐藤利之・佐藤重良・荻野・水越
(山梨YMCA)野々垣理事長・中田総主事・平賀担当主事
(ゲスト)高岡さん・内藤さん
○笛吹市シルバーセンター (26日のみ5名)

敬称略・順不同



<感想>

丹精込めて1年間育てていただいたネギ(数量10,000本強)の収穫の作業は、穏やかな天候に恵まれて、総勢15名で順調に収穫出来ました。手順は、①掘り起こし ②枯葉取 ③袋詰め ④運送でした。収穫は10時から作業開始、昼食休憩30分に短縮していただき16時(日没前)には完了しまし

た。やはり数量が多い(収穫量・軽トラックで3台分)ものから時間がかかりました。

販売は28日9時から準備し10時からチャリティー販売の看板を掲げ、販売としました。スーパーの店頭での販売ですから、暮れのお買い物に来たお客さまは何を販売しているの?とお立ち寄りいただきました。「安いですよ!境川のネギですよ!チャリティー販売です、」と声掛けすると、「帰りに寄りますから」と言われ、帰りに買っていただきました。多くの皆様にお買い上げいただきましたが、全部販売することができなかったので、残ったものは山梨YMCAの関係する皆さんに販売していただくようにと考え、山梨YMCAの玄関でチャリティー販売していただきました。1日ですべて完売した様です(有効にチャリティー出来て良かった)

売上高は別として、沼田さんのご厚意により、暮れのぎりぎりの日程で、このようなチャリティー販売活動は初めてのことでしたがワイズの皆さん、ゲストの皆さんそして山梨YMCAの皆さんのご協力をいただき実施出来ましたことに 感謝と御礼申し上げます。

CS・Yサ活動委員会・佐藤重良記



枯れ葉取り袋詰め作業



食品スーパー セルバ笛吹境川店前で販売

年頭所感拾い読み

ブリテン委員長野々垣和宏です。正月に発表になった所感の中から私が気になったものをピックアップしました。新しい年の門出に、経営者は何を考えているのか、そしてどのような経営をするのか。

学生時代に学んだ「キチンの波（短期波動）」や「ジュグラーの波（中期波動）」そして「クズネッツの波」。景気循環（サイクル）に関する学説の中で、約 50 年周期で循環するというコンドラチェフ波動というものもあります。そんな中、何をしていたらいいのでしょうか。

＜変化の 2024 年―「地政学の益々の不確実性」と「技術進化による覇権争い」＞

2024 年という年は、「変化の年」になるのではないかと感じています。その理由を 2 つお話しします。

1 つ目は地政学リスクによる転換です。米中対立をはじめ、ウクライナや中東での紛争など、世界のあらゆる地域で騒乱が継続し、それに対応する各国の足並みの乱れが、過去数十年続いてきたグローバル化の潮流に大きな影響を与えることが、最早、常態化していると見るべきです。

特に、**今年、70 以上の国々で選挙が行われ、世界の民主主義の有り方にスポットライトが当たる年**となります。これらの国々に住んでいる人口は合計で約 40 億人、世界の人口が約 80 億人ですから、実に半数にあたる地域で選挙が行われる予定です。1 月の台湾での選挙を皮切りに、インドネシア、インド、そして 11 月のアメリカ大統領選挙と続きます。各国・地域でますます内向き志向、自国主義が強まるのではないのでしょうか。

2 つ目は政治・経済や地政学リスク以上に、世界秩序そのものに大きな地殻変動をもたらさう技術の更なる進化 - すなわち**生成 AI の進化による転換**です。

現在、地球上のあらゆる優秀な頭脳が競うように AI の開発に従事しています。AI 開発を巡っては、国際協議による規制も議論されていますが、進化のスピードは止められず、また AI を軸とした対立の勃発などの可能性も否定できません。AI の進化は、単に、我々の日常生活を便利に、ビジネスを効率的にする、ということに留まらず、国家の政治・経済体制や人々の思想・価値観に至るまで、あらゆるレイヤーに大きな影響をもたらす、AI を制するものが次の未来の覇権を握ると言っても過言ではありません。

～三菱商事社長 中西勝也 による「2024 年 年頭挨拶」

＜リスクリングと AI 関連づける力＞

私はかねてより、**一見無関係な複数の事柄を関連づけることで新たなアイデアが生まれ、変革が生まれる**礎となる『関連づける力』を養う重要性を説いてきました。自分自身の仕事やその周辺だけでなく、広く社会に関心を持っていると、何か新しい話題やテーマに出会う度に、興味関心を持って自ら調べ、関連する本を読むことで知識も好奇心も広がっていきます。それらの考えや情報をまとめて課題設定する力こそが『関連づける力』です。難しいことではなく、身近なテーマについて知識を深めたり、事象への意味づけを変革していく思考実験も、リスクリングだと考えます。ドコモ gacco では、『リベラルアーツビジネス思考プログラム』を提供しています。

株式会社ドコモ gacco 佐々木 基弘

＜我が国経済が迎える「潮目の変化」＞

我が国経済には、経済界の皆様のご尽力もあり、100 兆円規模に達しつつある国内投資、3.5%を超える賃上げ、双方において実に 30 年ぶりの高水準を示しているところであり、成長と改革の方向に向かう「潮目の変化」ともいべき兆しが生じています。

これは、長らく停滞していた日本経済を反転させ、縮み思考、デフレマインドを変える千載一遇のチャンスでもあります。この流れを確実なものにし、日本経済の持続的な成長を実現するためにも、経済産業省として、大胆な産業政策を講じていきます。

特に、**GX、DX** といった社会課題解決分野を成長の源泉となる戦略分野と捉え、官も一歩前に出たうえで大規模、長期、計画的に取り組んでいくことを通じ、日本経済を成長軌道に乗せていきたいと思えます。

本年は、いわば、そうした日本経済の新局面、新たなステージの幕開けです。

～経済産業大臣 齋藤 健～

＜100 年時代～アルムナイネットワーク＞

アフターコロナにおける働き方については、引き続きフルリモート勤務の企業や、フルリモートからフル出社に戻す企業、リモートと出社のハイブリット勤務へと移行する企業等、ますます多様化が進みました。また、個人の価値観の変化や人手不足等、ビジネスを取り巻く環境がめまぐるしく変化していて、これまでの経営戦略では立ちいかなくなっています。このような状況の中、人材を「資本」として捉え、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値向上に繋げるための経営戦略「人的資本経営」が注目を集める年となりました。

人的資本経営では、人生 100 年時代を見据えた自立的なキャリア形成や個人の意欲やモチベーションが多様化する中、従業員のリスクリング・副業・育成出向等の意識向上施策、中途採用やアルムナイネットワークの活用、兼業・副業人材を受け入れる等の人材の多様化、時間や場所にとらわれない働き方の推進等が企業に求められています。

株式会社みらいワークス（本社：東京都港区、代表取締役社長 岡本祥治）

*アルムナイネットワークとは：企業を離職した人や退職した人で形成されるコミュニティ

＜「デジタル技術進展を踏まえた安心・安全で利便性の高い金融インフラの構築」＞

手形・小切手機能の全面的な電子化は、人手不足への対策として社会全体の業務効率化や生産性向上等が期待される中、全国各地で講演を行う等、利用者の理解を醸成する流れができてきました。同時に、金融機関向けの説明会や、手形帳・小切手帳に印字する広告媒体等を作成して幅広い金融機関に提供する等、金融機関の取組みも多面的に支援しています。また、昨年 4 月には自動車税や固定資産税等の一部の地方税で **QR 納付**が始まり、スマホひとつでいつでも・どこでも納付が可能になりました。来年度には**全ての地方税目**が **QR 納付の対象**となる予定です。さらに、サイバーセキュリティの領域では、共助の観点から各行の自律的対策に資するような好事例の共有を進めています。

一般社団法人全国銀行協会 会長 加藤 勝彦

◆YMCA 便り◆

「感謝の時、新年おめでとうございます。」

総主事 中田 純子

先日、松本ワイズメンズクラブ 35 周年記念式典に合わせた「アジア賞作文コンテスト」授賞式が開催され出席してきました。創設 35 年、第 25 回作文コンテストの時を迎えられましたことに喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。今は亡き前理事長大澤英二氏は、熱い思いを胸に自ら長野に足を運び、YMCA 運動を広げる為に、絶えず祈りを守られたのだらうと想像します。この思いに集められた人々が長野県松本市に松本ワイズメンズクラブを創設し、現在までの時を刻まれているのだと実感しました。

この「アジア賞作文コンテスト」は、これまで参加対象者をアジアの留学生に限定しておりましたが、昨年より限定を外しアジア以外の留学生も応募できるようにしました。さらに今年の最優秀賞受賞者は、ポーランドからの留学生で、広き門となったこの事にも、とても意味があると感じた瞬間でした。

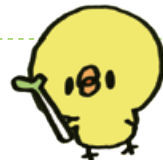
山梨 YMCA は、連なる皆様の夢の実現の為、命に寄り添い共に生きる心豊かな地域共生社会を目指しております。また、これまでの喜びと感謝と共に互いを認め合い、高め合うポジティブネットのある社会を創るために、地域ニーズを捉えた活動の歩みを進めています。

世界の若者が、日本に留学を希望しワイズメンズクラブとつながり、自分たちが安心して生活できる場を見つけています。さらに将来の夢を見つけ、それぞれの場所で地域に貢献できる人材として巣立っていくのです。これまで人と人との出会いに感謝してきたからこそその賜物です。地球上の人々が目指す平和な世界のためには、世界各国の人々・文化を理解し認め合うことが重要です。そのためには、留学生との交流は不可欠であると考えます。知り合いになれば、そのひとを愛する心が生れ、支え合うことが出来、国と国との心のバリアフリーの確立につながります。

山梨 YMCA に連なるワイズメンズクラブとして、この思いを共通に持ち活動の歩みを進めていただければ幸いです。

2024 年も各ワイズメンズクラブの皆様の喜びと共にこれまでの歩みに感謝し、主による豊かな恵みが与えられるようにお祈りしております。

ねぎょうご



<ゲームチェンジを起こそう>

生成 AI、ChatGPT など世界的に注目されて以来 1 年が経っています。しかし、革新的な技術はさらに加速度的に普及が進むことであります。いよいよ GovTech 東京もスタートいたしました。子育てに関する情報がプッシュ型で届く「こども DX」をはじめ、東京 DX が本格的に始まってまいります。デジタルの力を大いに活かして、都民本位のサービスが実感できるよう、そのように創り上げてまいります。

さらに、「人」が輝く東京の実現に向けましては、高齢者がいきいきと活躍し、安心して暮らせる、そのような環境づくりが重要であります。そのためには、シニア世代が培ってきた様々な能力・経験を活かすことができますよう、**企業と元気な高齢者とを結びつける新たな仕組み**を創出していかねばなりません。

また、高齢者介護に携わる人たちが希望を持って働き続けることができる、そんな環境整備も重要であります。先般、国は介護報酬を引き上げまして、今年から月 6 千円の賃上げをしようということをしていますけれども、住宅費など生活コストが高い東京です。この東京におきましては、支援をより手厚くしていく必要がございます。そこで、新たに、月 1 万円から 2 万円程度を念頭にしまして、介護職に対する支援を行うなど、東京の実情に応じた積極的な施策を考えてまいります。

女性や子育て家庭、子供や高齢者、障がいを持つ方、誰もが自己実現や幸せを追求できる、そのような社会づくりを急がねばなりません。多様化するニーズに的確に応え、そして都民の皆様に「東京は変わったね」「暮らしやすくなったね」という実感を持っていただくこと、そのためにはゲームを変える。変えるのは私たちであります。一人ひとりが輝く東京の実現に向けまして、都庁の総力をあげて取り組んでまいります。

<使命感を持って都市力を磨き抜く>

さて、「21 世紀は都市の時代」と言われております。課題が先鋭的に現れるのも、その解決を先導するのも都市だということです。気候危機やエネルギー問題など人類共通の課題を解決し、次なる成長の突破口を開こうとする世界各都市の勢いと熱量は極めて大きいものがあります。グローバルな現代社会におきまして、厳しい競争に勝ち抜く力なくして、都民を守り、より良い暮らしを実現することは難しい。メジャーリーグで活躍するあの大谷翔平選手はこんなことを言っています。「憧れるのはやめましょう。」と。むしろ国際社会の手本になるという意気込みと、大都市としての使命感を持って、都市力をさらに磨き抜いていきたい。

例えば、ペロブスカイトなど先端技術を駆使をいたしまして、**東京を丸ごと「発電する未来都市」**にしていく。また、日本初となる水素取引所を設立いたしまして、世界に先駆けて水素社会を実現していく。

また、この春には「SusHi Tech Tokyo 2024」の開催も控えています。全庁一丸となって強みを輝かせ、唯一無二の東京の個性を世界に売り込んでいくチャンスであります。そして、「東京でなければ」、また「東京だからこそ」と、世界から集まるヒト・モノ・カネ・情報を梃子にしまして、変革を一層加速させていきたいと思っております。東京大改革の手を緩めることなく、さらなる高みを目指していく。種を蒔き、芽を吹かせ、花を開かせていく。世界から「憧れられる東京」へと磨きをかけるのは私たちであります。

東京都知事 小池百合子